

令和8年度 岩手県立宮古水産高等学校経営計画

校長： 谷地信治

1	校訓・教育目標	勤勉 誠実 進取		
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	ふるさとを愛し、地域の未来を切り開く人材、専門性を身につけていると共に心豊かな人間を育てる	
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	地域社会と連携し、各学科の特色を生かして地域と共に育てる教育活動を展開する。協働をとおして自己を認識し非認知能力を向上させる	
		(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	目的意識があり、自らを律して成長したいという気持ちを持っている生徒	
3	魅力化協働パートナー	宮古漁業協同組合、水産研究教育機構水産技術研究所など		
4	目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
			ア 自己肯定感の向上を図り、心身の健康、豊かな人間性を育成する	・「入学以来、人間的に成長したと感じる」と答えた生徒の割合【80%以上】
			イ 基礎学力の定着を図り、生徒の実態に応じた指導法の工夫・改善を推進する	・授業の内容が身につくよう、わかりやすい授業をしていると答えた生徒の割合【80%以上】
			ウ 地域と連携・協働を図り、地域の担い手を育成する	・地域と連携した事業を【10回以上】行う。
			エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・認知した「いじめ」が解消した割合【100%】
			オ キャリア教育の充実と自立心の向上を図り、個に応じた進路目標達成を実現する	・希望する進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】
			カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する	・「学校は悩みや相談に応じる体制が整っており、親身になって対応している」と答えた生徒の割合【80%以上】
		(2) 取組方針	ア 自己肯定感の向上を図り、心身の健康、豊かな人間性を育成する (ア) 「挨拶の励行」「整容」等基本的生活習慣や社会規範の確立を目指す (イ) ボランティア活動等社会貢献活動への参加を奨励する	
			イ 基礎学力の定着を図り、個に応じた指導法の工夫・改善を推進する (ア) 読書を習慣づける ユニバーサルデザインを推進し「わかる授業」の展開を図る (イ) これからの時代を意識した実習の充実と資格取得への取組を推進する	
			ウ 地域との連携・協働を図り、地域の担い手を育成する (ア) インターンシップや現場実習を充実させ、地域産業の良さを理解させる (イ) 船内カリキュラムを充実させ実習船の有効活用を推進する	
エ 早期発見・事案対処に向けた「学校いじめ対策組織」の取組 (ア) いじめの早期発見・事案対処のため、いじめの疑いに関する情報や生徒の問題行動などに係る情報の収集と記録、共有を行う (イ) 認知したいじめの解消に向けた適切な対処や重大化させないための取組を組織的に行う				
オ キャリア教育の充実と自立心の向上を図り、個に応じた進路目標達成を実現する				

(様式1)【高等学校用】

		(ア) 教育活動をとおして社会人、職業人として自立できる力を育成する (イ) キャリア教育を一層推進し、専門分野への進路実現に向けた指導を充実する
		カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する (ア) 生徒一人ひとりの目標が達成できるよう、「ことば」を大切にしながらコミュニケーションを図り、適切な指導にあたる (イ) 暴力(体罰)・暴言・ハラスメント(生徒の人格を傷つける言動)根絶に向けた実効性のある研修等に取り組み、根絶を目指す
5	業務量管理・健康確保措置	・月当たりの時間外在校時間の削減 ・ストレスチェックに基づく医師の面接指導の奨励